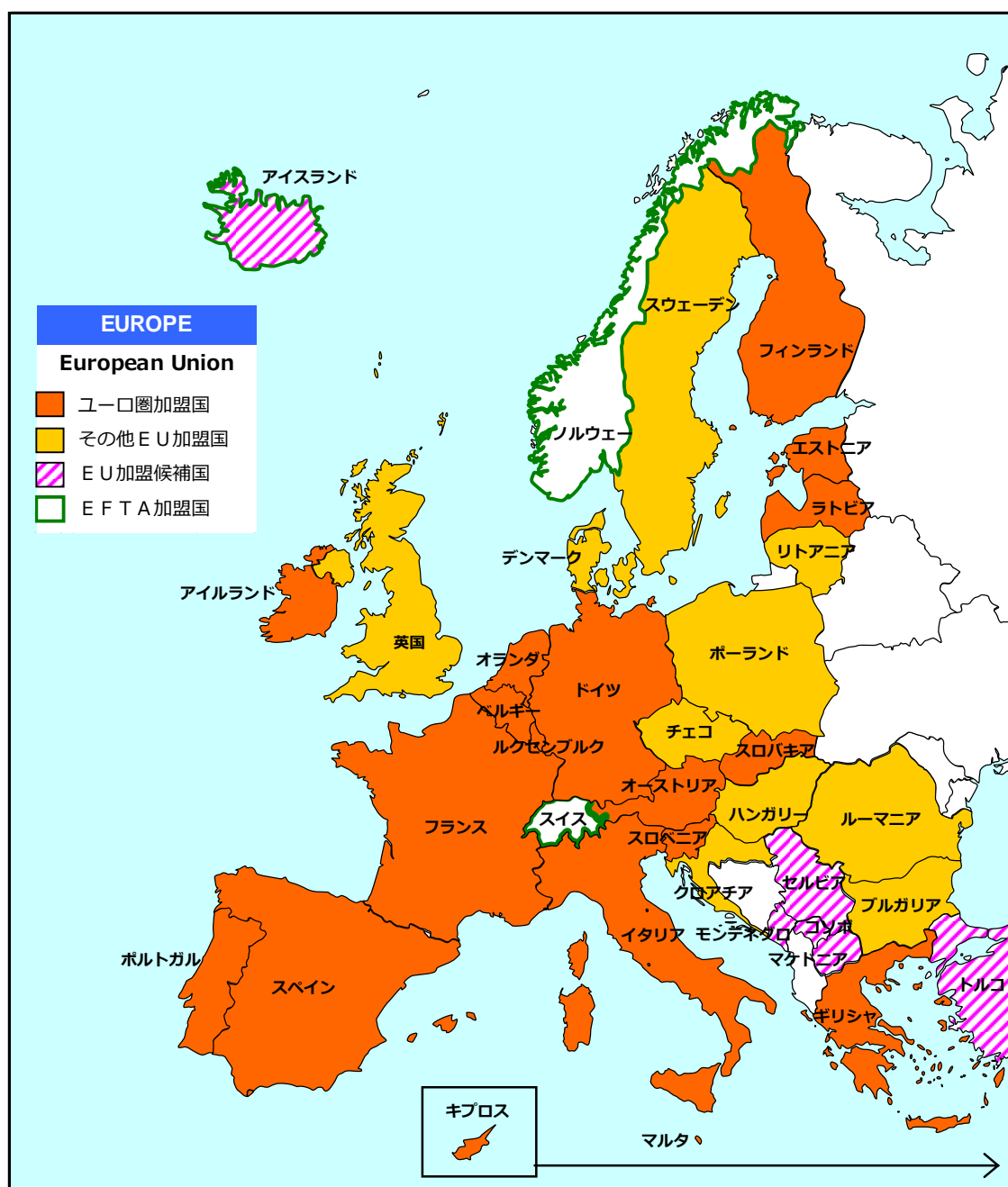


2014年2月25日 全13頁

欧州経済アップデート (2014. 2)

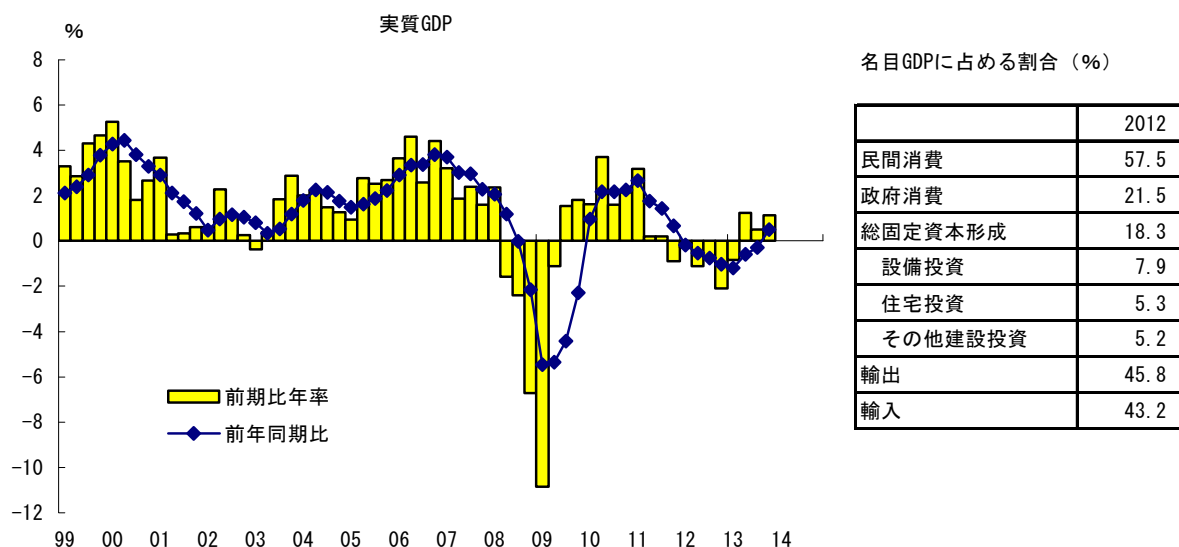
経済調査部
研究員 矢澤 朋子



出所：三角形「白地図専門店」サイトより大和総研作成

ユーロ圏 GDP

- 13年Q4のGDP成長率（速報）は前期比+0.3%とQ3よりやや加速し、3四半期連続のプラス成長となった。13年通年では前年比-0.4%で2年連続のマイナス成長
- Q4は、ドイツが前期比+0.4%と主な牽引役となり、フランスも同+0.3%と加速。イタリアは同+0.1%と11年Q2以来のプラス成長に転換するも、弱い伸び
- 13年Q4の内訳は、3月5日に発表予定



ユーロ圏の需要項目別GDP成長率（前期比：％）

	1001	1002	1003	1004	1101	1102	1103	1104	1201	1202	1203	1204	1301	1302	1303	1304
実質GDP	0.4	0.9	0.4	0.5	0.8	0.0	0.1	-0.2	-0.1	-0.3	-0.2	-0.5	-0.2	0.3	0.1	0.3
個人消費	0.1	0.2	0.3	0.5	0.2	-0.6	0.2	-0.6	-0.3	-0.5	-0.1	-0.5	-0.1	0.1	0.1	-
政府消費	-0.4	0.2	0.1	-0.0	-0.1	0.1	-0.3	0.2	-0.3	-0.2	-0.2	0.0	0.3	0.0	0.2	-
総固定資本形成	-0.2	1.8	0.1	-0.4	2.4	-0.7	-0.4	-0.5	-1.2	-1.9	-0.6	-1.2	-2.0	0.3	0.5	-
設備投資	2.2	2.9	1.4	1.1	2.1	0.1	0.3	-1.0	-1.1	-2.0	-0.6	-0.9	-1.5	1.0	0.2	-
住宅投資	-0.8	1.9	-1.2	-1.8	2.8	-1.1	-1.4	-0.3	-0.3	-1.5	-0.8	-1.6	-1.7	0.3	0.8	-
その他建設投資	-3.1	0.0	-0.5	-1.3	2.5	-1.6	-0.4	-0.1	-2.1	-2.0	-0.5	-1.2	-2.9	-0.8	0.6	-
輸出	3.0	4.4	1.9	2.5	1.7	0.4	1.3	0.3	0.8	0.9	0.7	-0.6	-0.9	2.1	0.3	-
輸入	3.5	4.2	1.3	1.9	1.6	-0.1	0.6	-1.2	0.0	-0.2	0.3	-1.0	-1.1	1.5	1.2	-

ユーロ圏の需要項目別GDP寄与度（前期比：％）

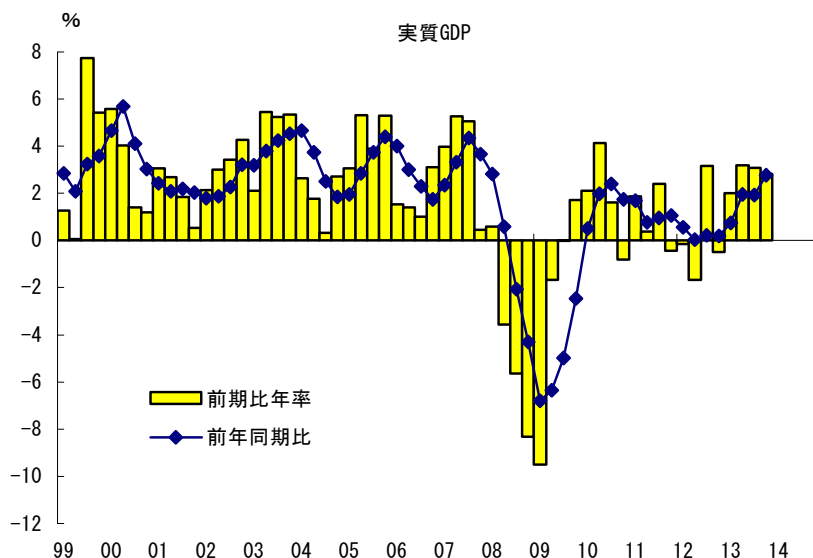
	1001	1002	1003	1004	1101	1102	1103	1104	1201	1202	1203	1204	1301	1302	1303	1304
実質GDP	0.40	0.91	0.40	0.53	0.79	0.05	0.05	-0.23	-0.07	-0.28	-0.17	-0.52	-0.21	0.31	0.13	0.28
個人消費	0.08	0.14	0.16	0.28	0.1	-0.31	0.13	-0.36	-0.18	-0.30	-0.07	-0.28	-0.07	0.08	0.04	-
政府消費	-0.09	0.04	0.02	-0.00	-0.03	0.02	-0.06	0.04	-0.06	-0.05	-0.04	0.00	0.06	0.00	0.03	-
総固定資本形成	-0.04	0.33	0.02	-0.08	0.45	-0.13	-0.07	-0.10	-0.22	-0.35	-0.12	-0.21	-0.35	0.05	0.09	-
設備投資	0.18	0.24	0.12	0.09	0.18	0.01	0.03	-0.08	-0.09	-0.17	-0.05	-0.08	-0.13	0.08	0.02	-
住宅投資	-0.04	0.10	-0.07	-0.10	0.15	-0.06	-0.07	-0.02	-0.02	-0.08	-0.04	-0.08	-0.08	0.01	0.04	-
その他建設投資	-0.16	0.00	-0.02	-0.07	0.13	-0.08	-0.02	-0.01	-0.10	-0.10	-0.02	-0.06	-0.14	-0.04	0.03	-
在庫変動	0.56	0.24	-0.06	0.07	0.22	0.27	-0.27	-0.41	0.02	-0.05	-0.15	-0.17	0.09	-0.16	0.34	-
輸出	1.19	1.78	0.79	1.05	0.72	0.16	0.56	0.14	0.37	0.39	0.34	-0.28	-0.41	0.96	0.12	-
輸入	-1.31	-1.62	-0.53	-0.78	-0.64	0.06	-0.24	0.48	-0.01	0.08	-0.13	0.40	0.45	-0.60	-0.48	-
純輸出	-0.12	0.16	0.26	0.27	0.08	0.21	0.33	0.62	0.37	0.47	0.21	0.12	0.03	0.36	-0.36	-

出所：Eurostat、Haver Analytics データより大和総研作成

* このレポートに掲載しているユーロ圏データに関するおことわり
 ユーロ圏とは、EU加盟国のうち単一通貨ユーロを導入し、金融政策を欧州中央銀行（ECB）に委ねている国々のこと。14年1月からラトビアがユーロの導入を開始し、現在は18か国となっている。14年1月以降のデータが公表されている場合、過去に遡って18か国ベースに修正済み。13年12月までのデータは17か国ベース。

英国 GDP

- 13年Q4のGDP成長率（速報）は前期比+0.7%とプラス成長継続。年を通じてのプラス成長は07年以来。13年通年では前年比+1.9%となり、12年の同+0.3%から大幅に加速
- Q4では、サービス業が最も大きなプラス寄与。一方、建設業は3四半期ぶりにマイナス寄与に転じた
- 13年Q4の内訳は、2月26日に発表予定



名目GDPに占める割合（%）

	2012
民間消費	65.9
政府消費	21.8
総固定資本形成	14.4
政府部門	2.2
企業部門	8.2
民間住宅投資	2.9
輸出	31.5
輸入	33.7

英国の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	10Q1	10Q2	10Q3	10Q4	11Q1	11Q2	11Q3	11Q4	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4	13Q1	13Q2	13Q3	13Q4
実質GDP	0.5	1.0	0.4	-0.2	0.5	0.1	0.6	-0.1	-0.0	-0.4	0.8	-0.1	0.5	0.8	0.8	0.7
個人消費	-0.8	1.5	-0.0	0.4	-1.1	0.0	-0.1	0.6	0.5	0.5	0.2	0.7	0.7	0.4	0.8	-
政府消費	-0.3	0.5	-0.1	-0.1	-0.1	0.1	-0.4	0.4	2.5	-1.5	0.1	0.4	-0.8	1.1	0.7	-
総固定資本形成	5.9	-1.7	4.1	-3.8	-4.8	6.5	-1.1	-1.2	5.1	-2.8	-2.2	-4.5	0.7	1.7	1.5	-
政府部門	-4.1	-6.2	4.0	-2.2	0.0	-13.3	5.1	-4.8	14.2	-4.1	-9.8	1.0	-15.0	18.5	-0.2	-
企業部門	10.5	-10.1	8.6	-5.2	-5.3	12.3	-3.5	-1.2	7.1	-1.8	0.4	-7.8	3.1	-2.3	2.0	-
民間住宅投資	23.8	18.5	-4.6	-0.2	-6.5	6.2	7.8	1.1	-5.1	-4.8	-2.3	0.2	4.1	3.1	0.7	-
輸出	0.3	4.0	0.3	2.6	3.8	-5.2	1.1	4.7	-1.7	-1.0	2.9	-1.9	-0.2	3.3	-3.0	-
輸入	1.9	2.7	2.5	1.1	-2.6	-0.7	1.0	1.1	0.7	1.4	0.6	-0.2	-1.7	2.5	0.7	-

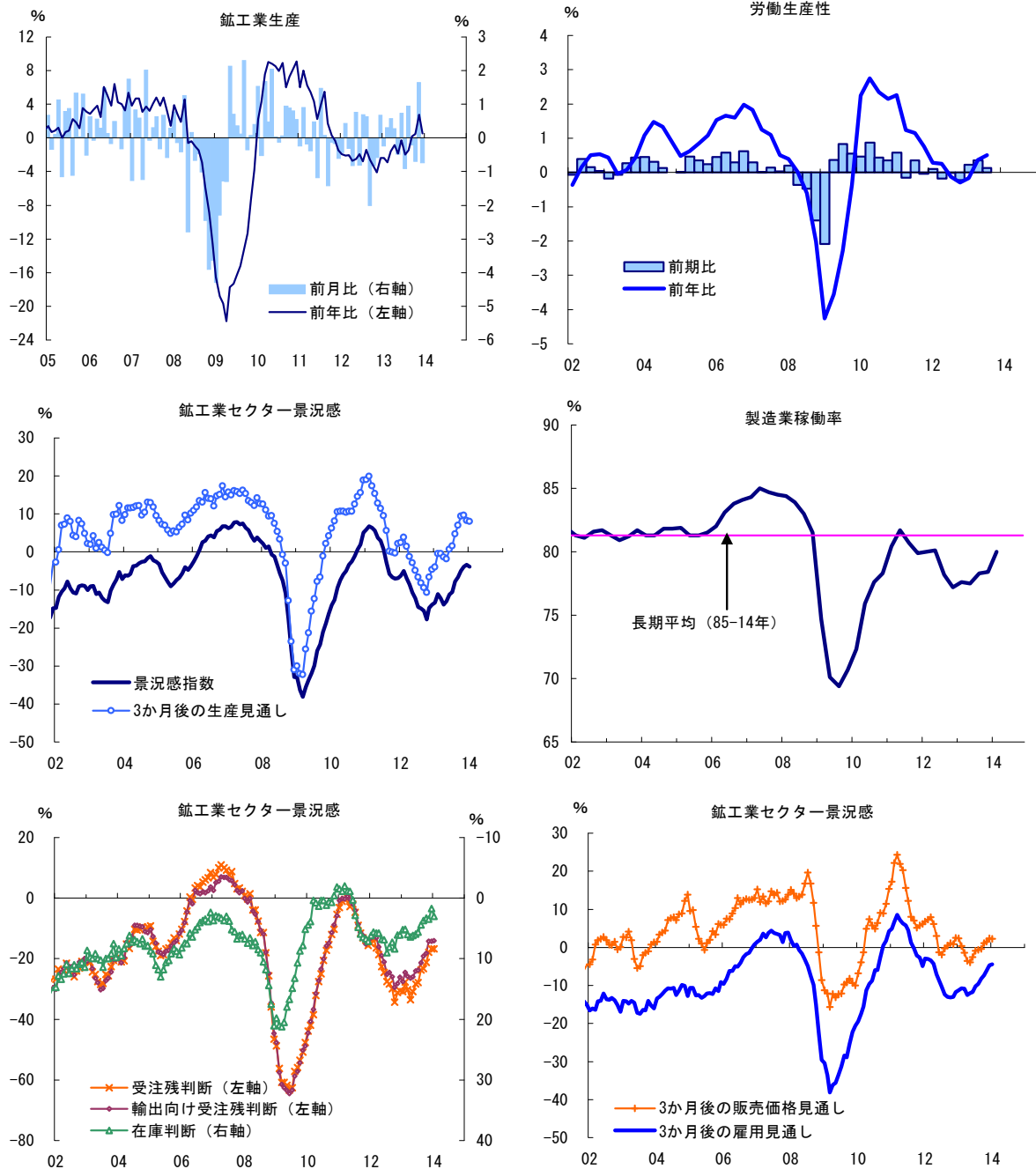
英国の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

	10Q1	10Q2	10Q3	10Q4	11Q1	11Q2	11Q3	11Q4	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4	13Q1	13Q2	13Q3	13Q4
実質GDP	0.53	1.02	0.40	-0.20	0.47	0.10	0.60	-0.11	-0.04	-0.42	0.78	-0.12	0.50	0.79	0.76	0.70
個人消費	-0.50	0.95	-0.00	0.26	-0.74	0.01	-0.09	0.35	0.33	0.29	0.10	0.45	0.47	0.24	0.55	-
政府消費	-0.07	0.11	-0.03	-0.02	-0.01	0.03	-0.10	0.10	0.55	-0.35	0.03	0.10	-0.19	0.25	0.16	-
総固定資本形成	0.85	-0.26	0.60	-0.58	-0.70	0.90	-0.16	-0.17	0.73	-0.42	-0.32	-0.64	0.10	0.24	0.20	-
政府部門	-0.11	-0.16	0.10	-0.05	0.00	-0.32	0.11	-0.10	0.30	-0.10	-0.22	0.02	-0.31	0.32	-0.00	-
企業部門	0.83	-0.88	0.67	-0.43	-0.42	0.92	-0.29	-0.10	0.56	-0.15	0.03	-0.66	0.24	-0.19	0.16	-
民間住宅投資	0.55	0.52	-0.15	-0.01	-0.20	0.18	0.24	0.04	-0.17	-0.15	-0.07	0.01	0.12	0.10	0.02	-
在庫変動	1.07	-0.07	0.53	-0.29	-0.09	0.60	0.94	-1.46	-0.68	0.91	0.33	0.52	-0.41	-0.15	1.03	-
輸出	0.10	1.18	0.08	0.77	1.16	-1.67	0.32	1.43	-0.55	-0.31	0.92	-0.60	-0.05	1.01	-0.94	-
輸入	-0.60	-0.84	-0.80	-0.35	0.85	0.23	-0.32	-0.36	-0.22	-0.44	-0.21	0.07	0.57	-0.81	-0.24	-
純輸出	-0.50	0.34	-0.72	0.42	2.01	-1.44	0.01	1.08	-0.76	-0.75	0.71	-0.53	0.52	0.20	-1.18	-

出所：英国統計局、Haver Analytics データより大和総研作成

ユーロ圏 生産

- 12月の鉱工業生産は前月比-0.7%と鉱業及び製造業の不振によりマイナスに転落。ただし、13年Q4は前期比+0.3%とプラス成長に転換。化学製品などの中間財が好調であった
- 1月の鉱工業セクター景況感は前月比悪化。構成要素である在庫判断が悪化に転じた
- 14年Q1の製造業稼働率は80.0%と12年Q2以来の80%台に乗せた

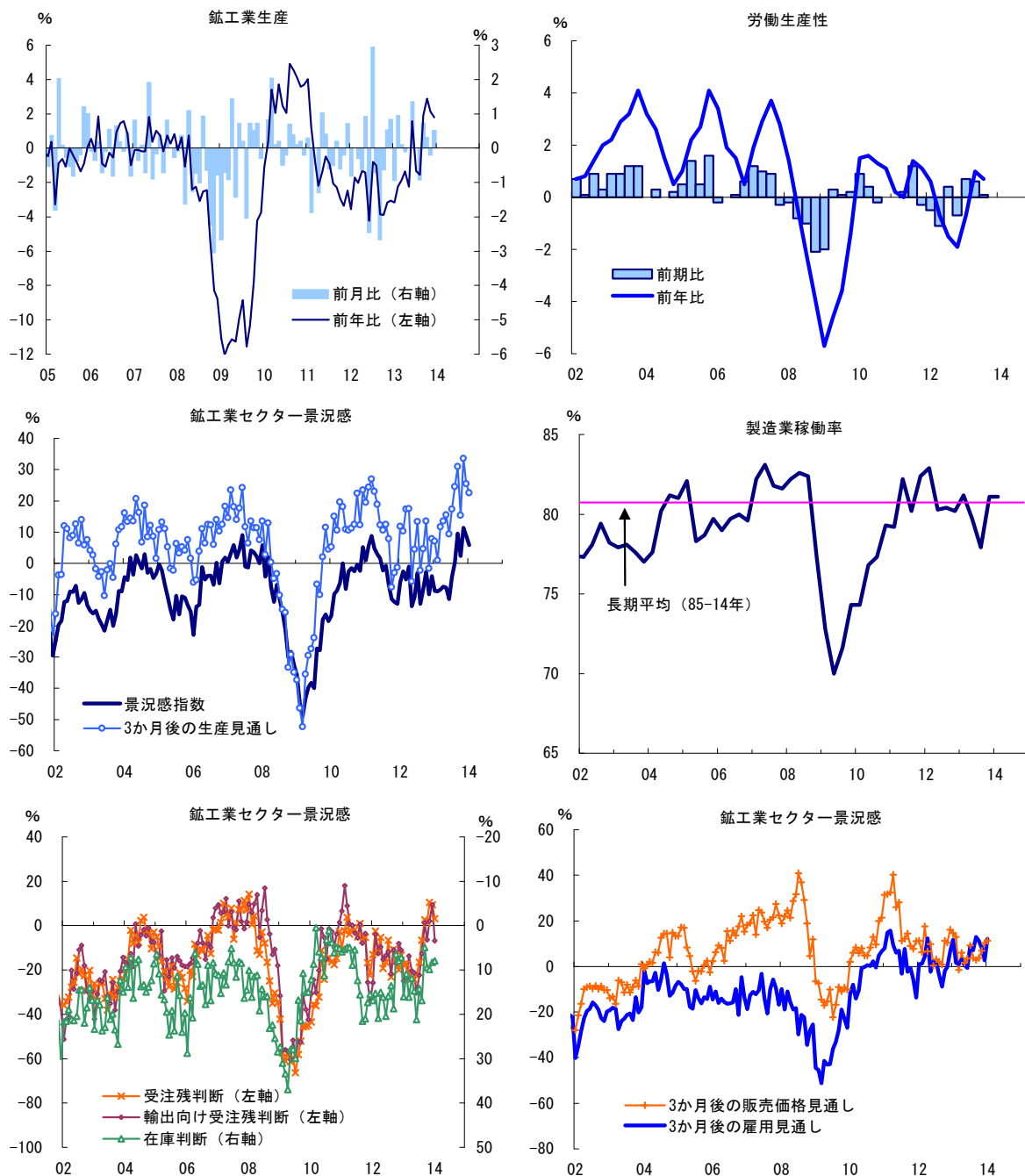


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、ECB、欧州委員会データより大和総研作成

英国 生産

- 12月の鉱工業生産は前月比+0.5%とプラスに転換。13年Q4は前年比+2.3%と11年Q1以来のプラス成長。鉱業及び製造業が回復
- 1月の鉱工業セクター景況感は受注残判断が主因で前月比悪化するも、高水準を維持
- 14年Q1の製造業稼働率は81.1%と13年Q4から変わらず。長期平均を上回る水準で推移

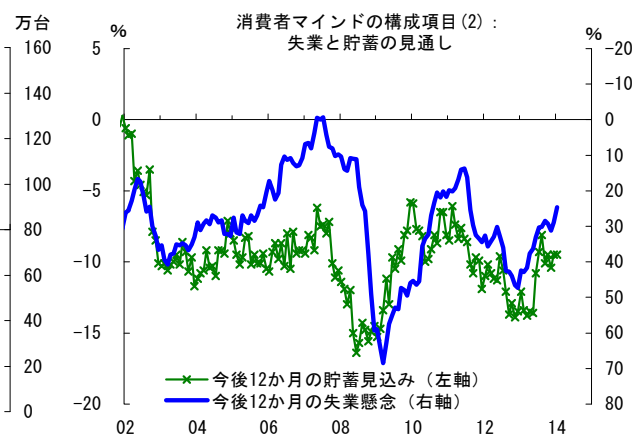
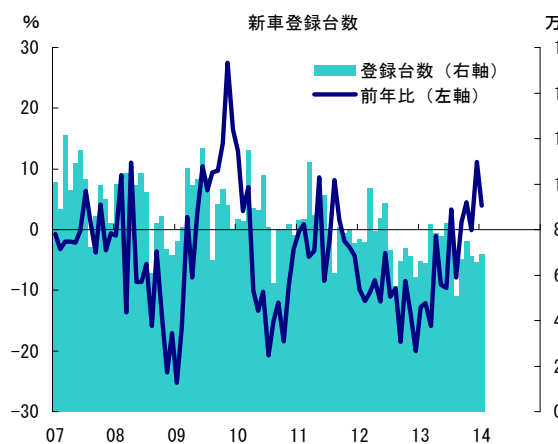
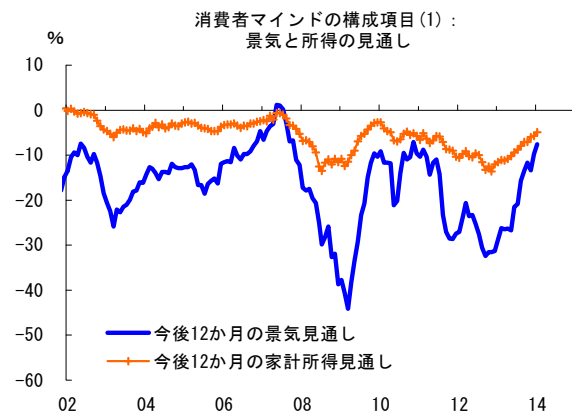
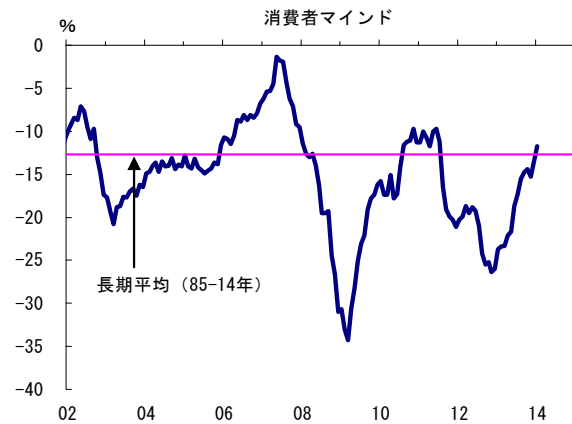
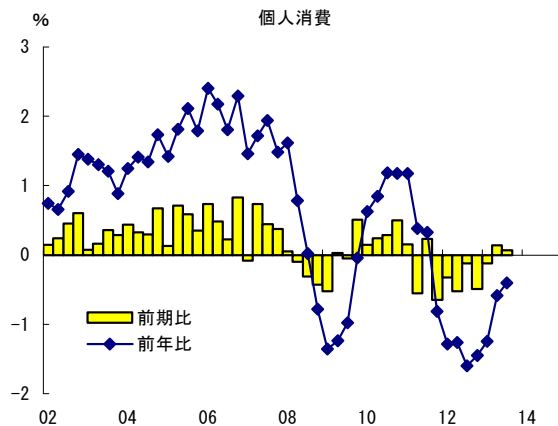


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、Eurostat、欧州委員会データより大和総研作成

ユーロ圏 消費

- 12月の小売売上高は前年比-1.0%と再び前年割れ。13年Q4は前期比-0.7%と1年ぶりのマイナスに転落。13年通年では前年比-0.9%と12年の同-1.7%から減少幅が縮小
- 1月の新車登録台数は前年比+4.0%と堅調な伸び
- 1月の消費者マインドは、11年7月以来初めて長期平均を上回った

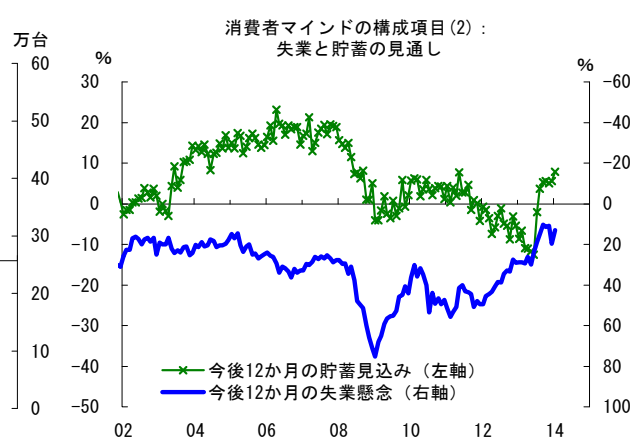
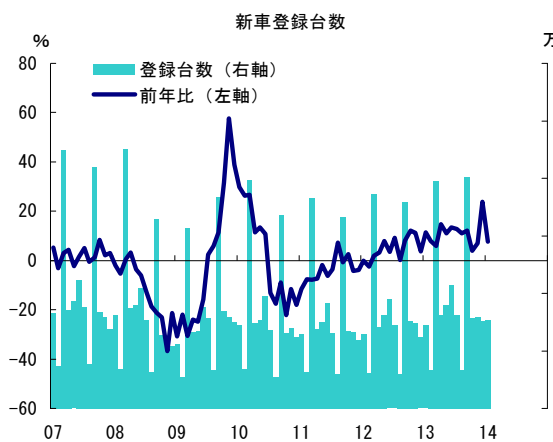
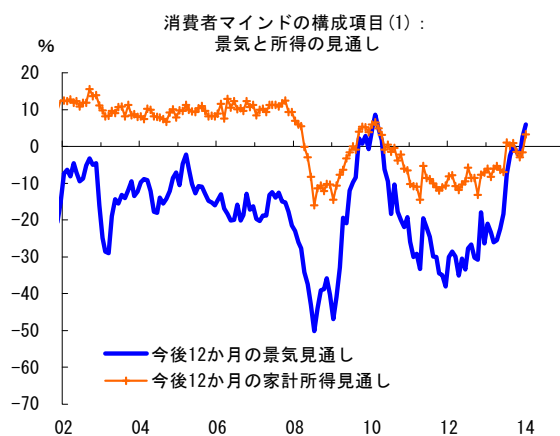
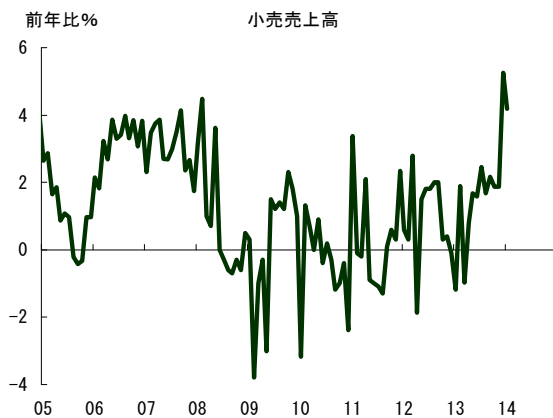
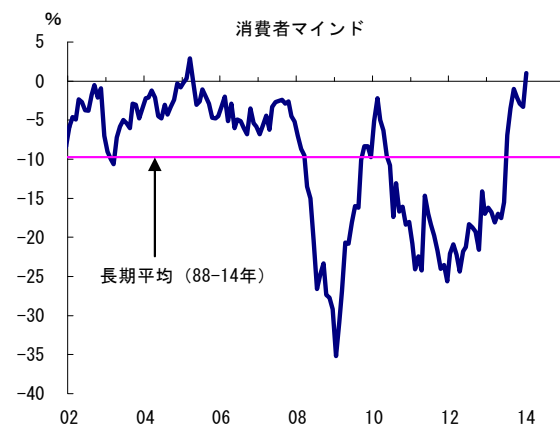
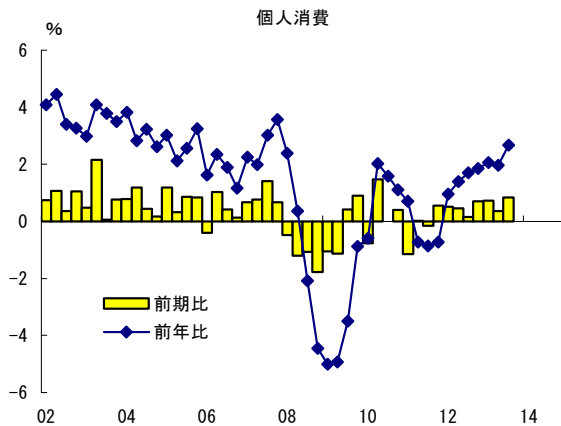


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

英国 消費

- 1月の小売売上高は前年比+4.3%と大幅増。非食品セクター（特に家庭用品）の牽引が大きい、一部大雪で落ち込んだ13年12月の反動増の影響も
- 1月の新車登録台数は前年比+7.6%と12月より減速するも、拡大が続く
- 1月の消費者マインドは、リーマン・ショック前のピークに迫る水準まで大きく改善

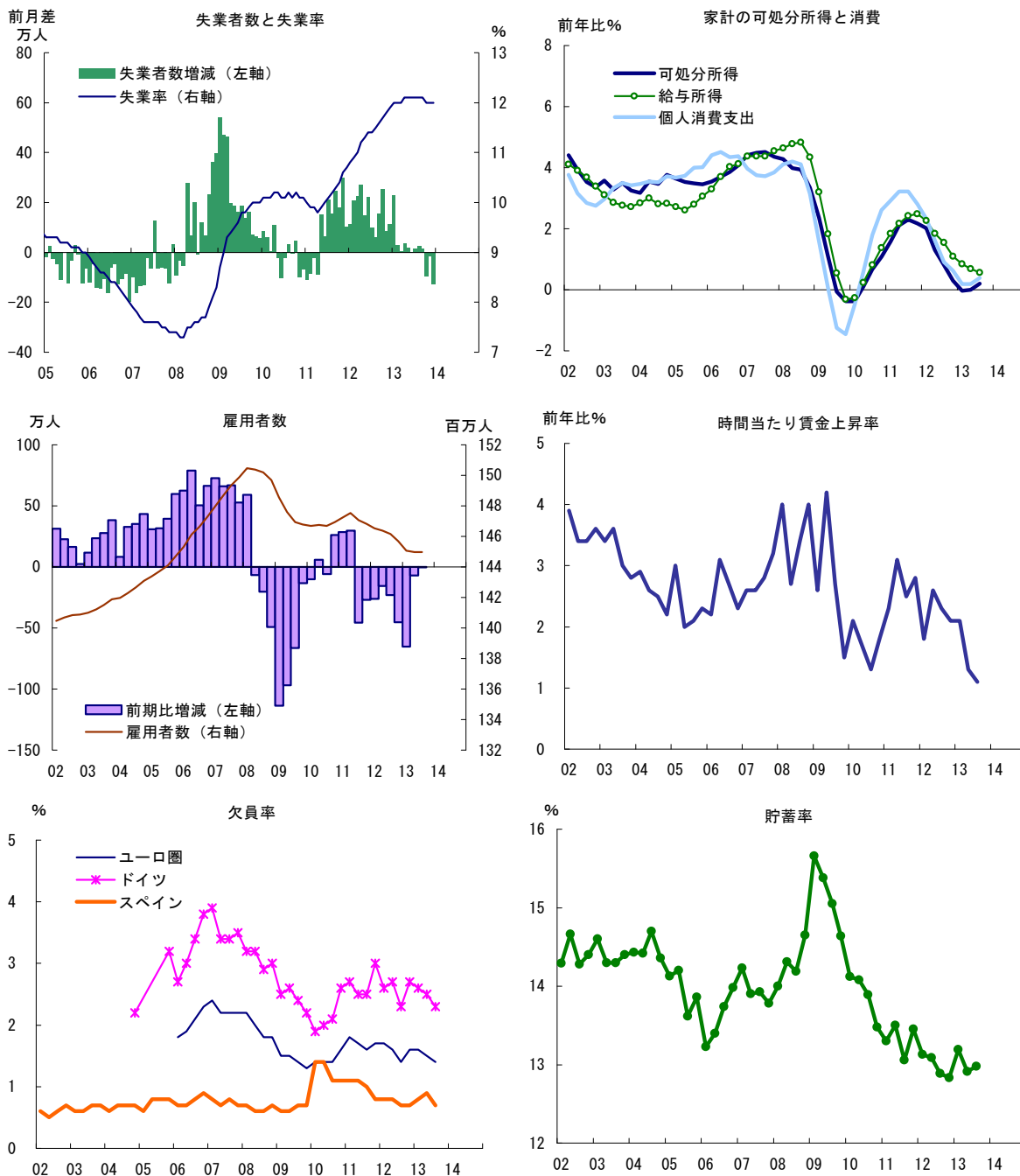


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

ユーロ圏 雇用・所得

- 12月の失業率は12.0%と横ばい。失業者数は前月比-12万9千人と大きく減少し、3か月連続の減少となった。スペイン、イタリアでの減少が顕著
- 13年Q3の給与所得は同+0.6%と減速が続いたものの、可処分所得は前年比+0.2%と3四半期ぶりのプラス成長。個人消費支出は同+0.4%とQ2から加速し、底打ちの兆し
- 13年Q3の貯蓄率は13.0%とQ2の12.9%からほぼ横ばい

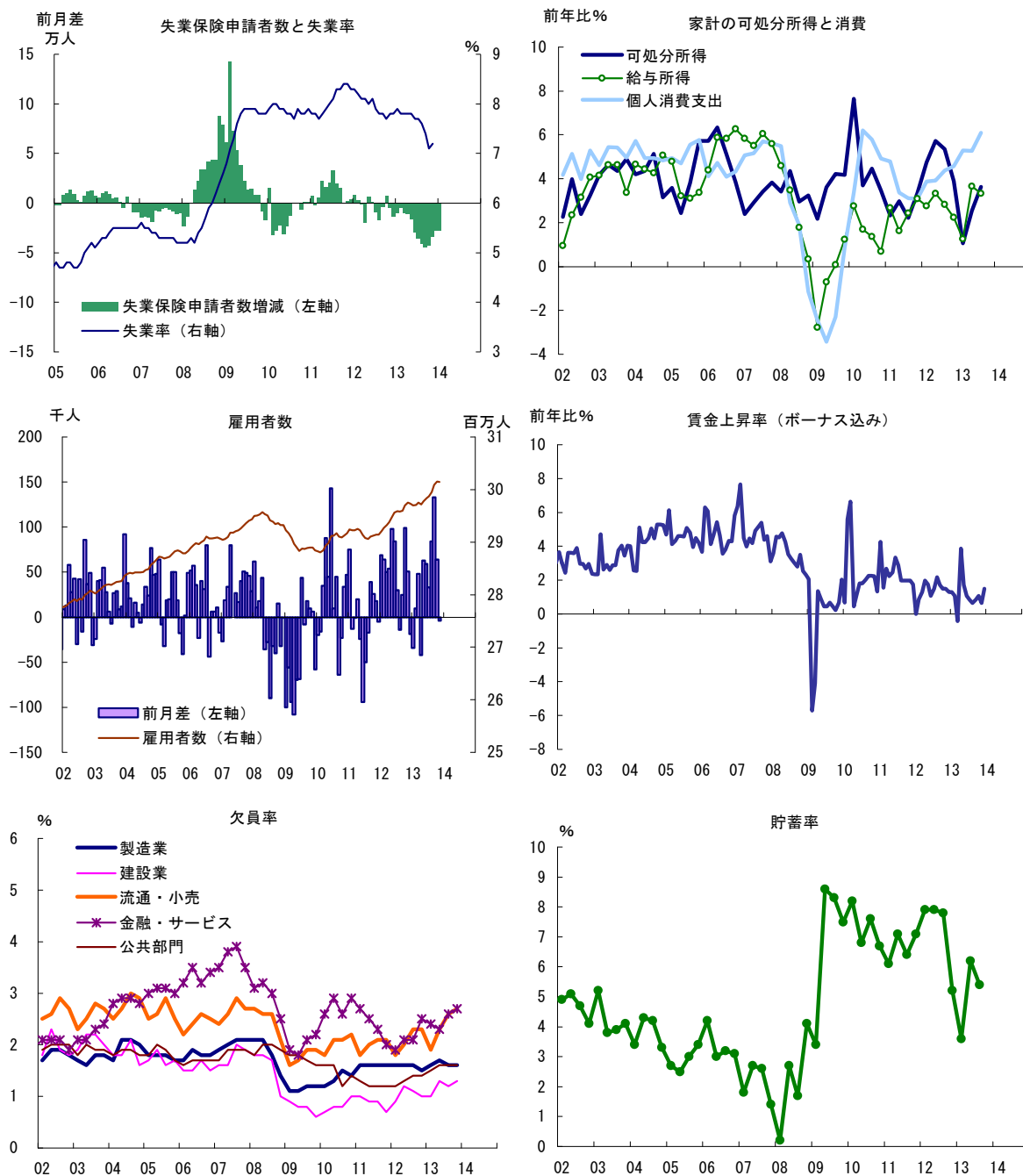


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = $\text{Number of job vacancies} / (\text{Number of occupied posts} + \text{Number of job vacancies}) \times 100$

出所：Eurostat、Haver Analytics、ECB データより大和総研作成

英国 雇用・所得

- 10-12月の失業率は7.2%。雇用者数は9-11月比-4千人と減少に転じるも、統計開始以来最多を更新した9-11月とほぼ同水準
- 1月の失業保険申請者件数は前月比での減少が継続し、08年12月以来の低水準となった
- 12月の賃金上昇率は前年比+1.5%とやや持ち直すも、依然低い伸びにとどまる。公的部門のボーナスが減少する一方、民間部門のボーナスが大きく伸びた

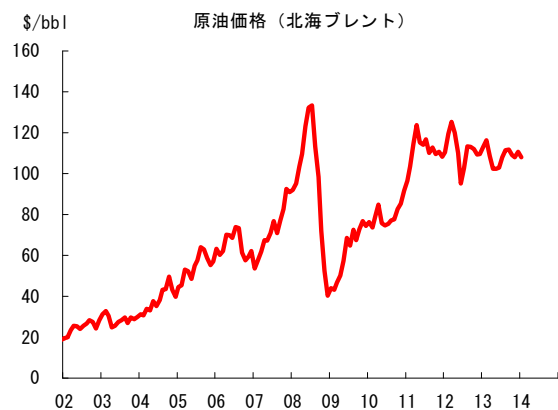
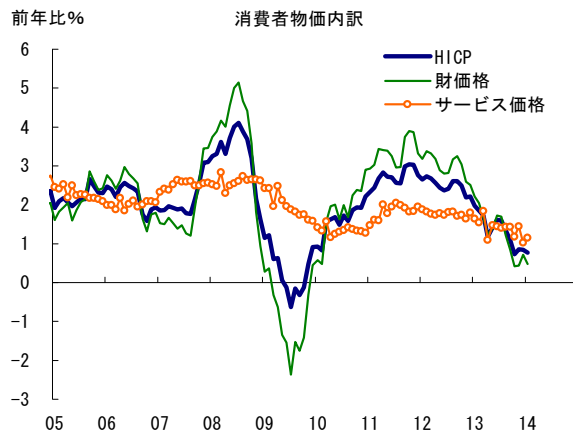
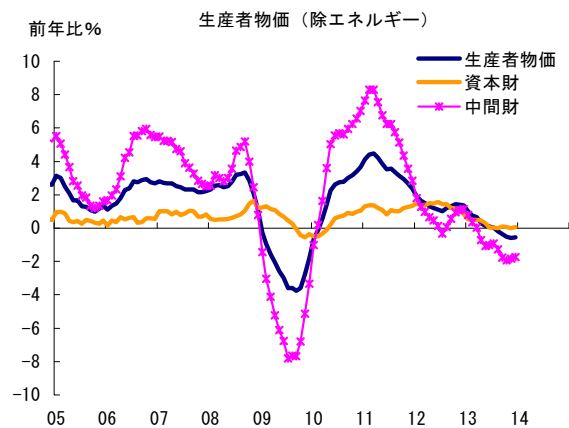
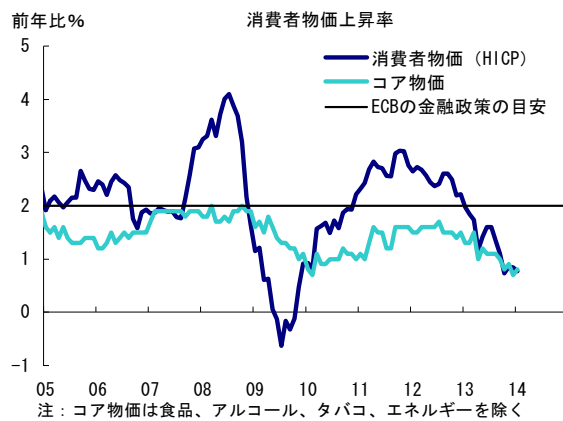


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = $\text{Number of job vacancies} / (\text{Number of occupied posts} + \text{Number of job vacancies}) \times 100$

出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成

ユーロ圏 物価

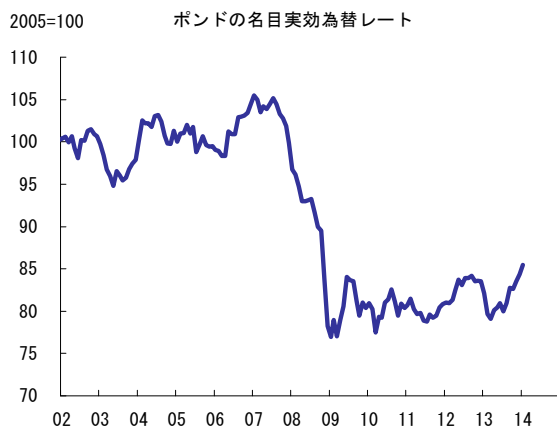
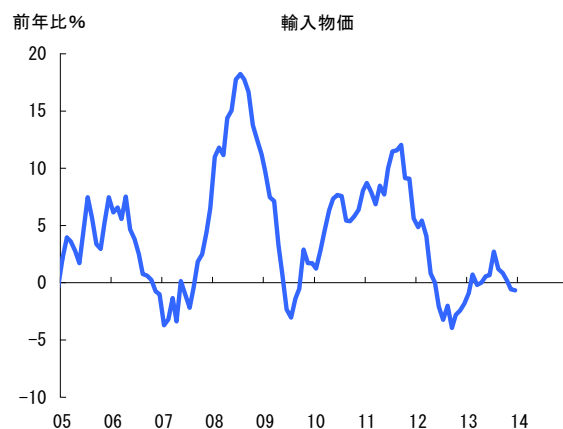
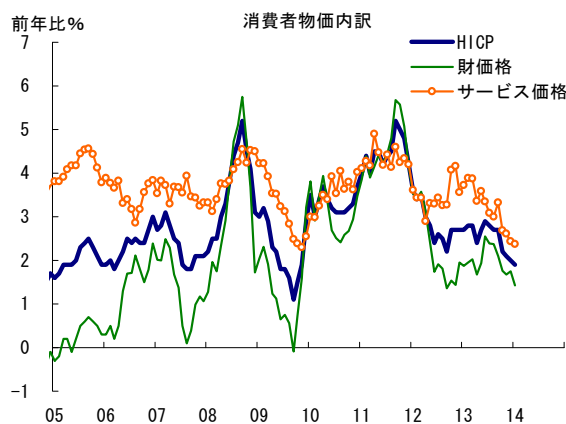
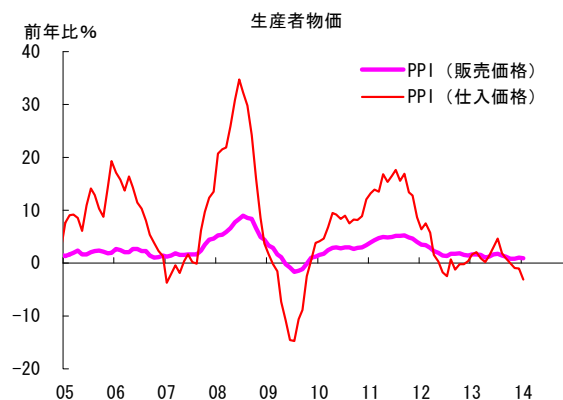
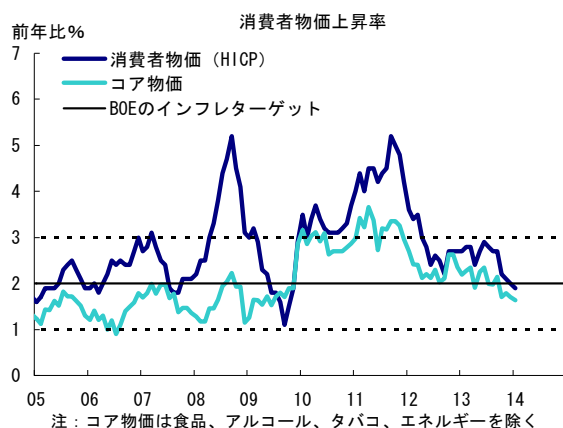
- 1月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比+0.8%と12月と変わらず。サービス価格は12月と比べてわずかに加速したが、エネルギー価格はマイナスに転じた
- 12月の生産者物価は前年比-0.6%。資本財価格はかろうじて前年割れを回避
- 12月の独輸入物価は前年比-2.3%。1月のユーロの名目実効為替レートは前月比でわずかに下落。1月の原油価格（北海ブレント）は前月比でやや低下



出所：Eurostat、ECB、ドイツ連銀データより大和総研作成

英国 物価

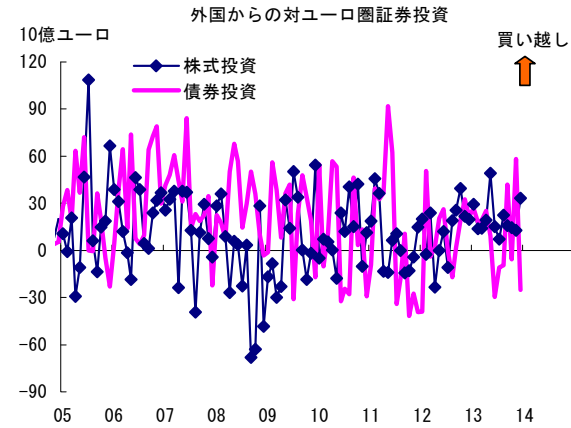
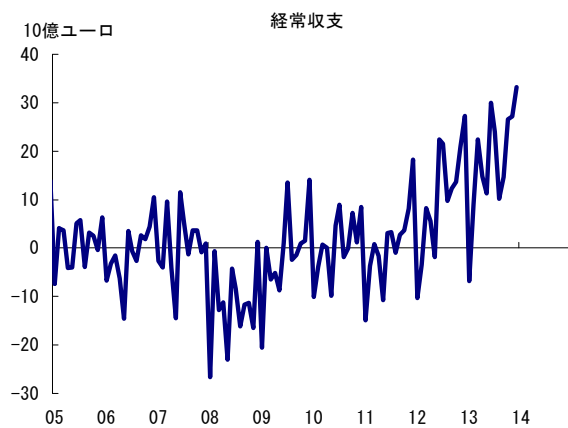
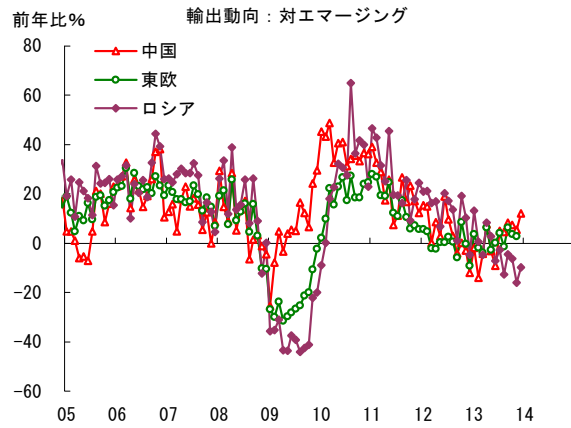
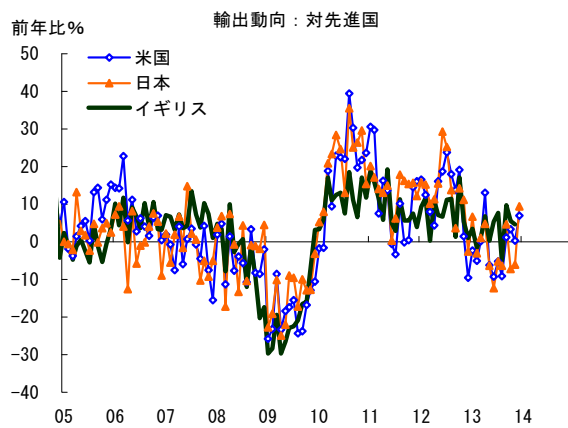
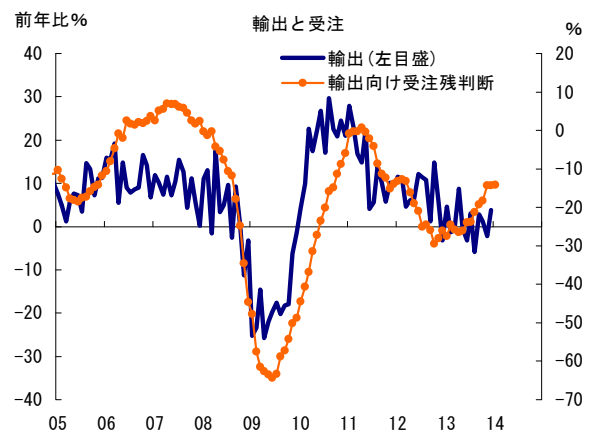
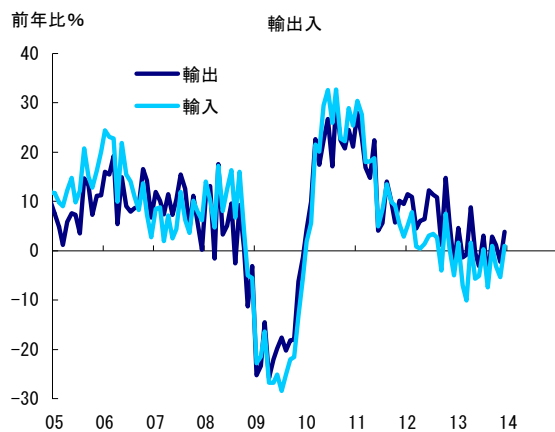
- 1月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比+1.9%と12月より更に低下。アルコール・たばこ及び家具・家庭用品の価格低下が目立つ
- 1月の生産者物価上昇率は販売価格は前年比+0.9%。仕入価格は同-3.1%と09年9月以来の水準まで下落。原油を含む輸入製品（食品除く）全般の価格低下が大きなマイナス寄与
- 12月の輸入物価上昇率は前年比-0.7%と2か月連続の前年割れ。ポンドの名目実効為替レートは13年3月を底とした上昇傾向が続く



出所：Eurostat、英国統計局データより大和総研作成

ユーロ圏 国際収支

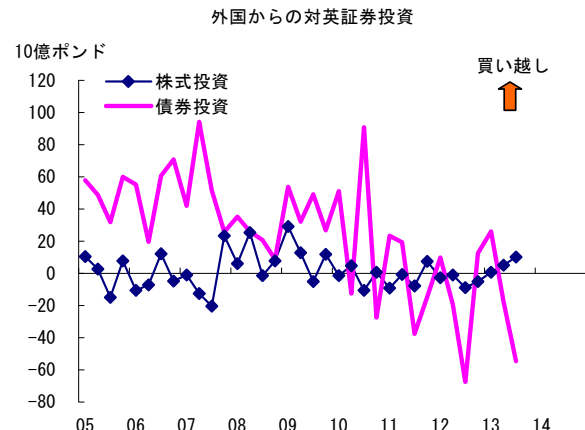
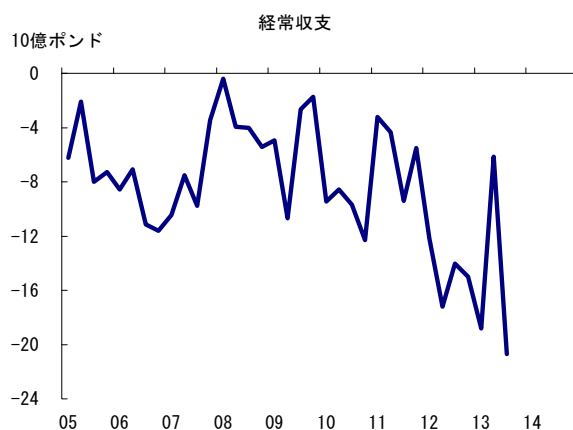
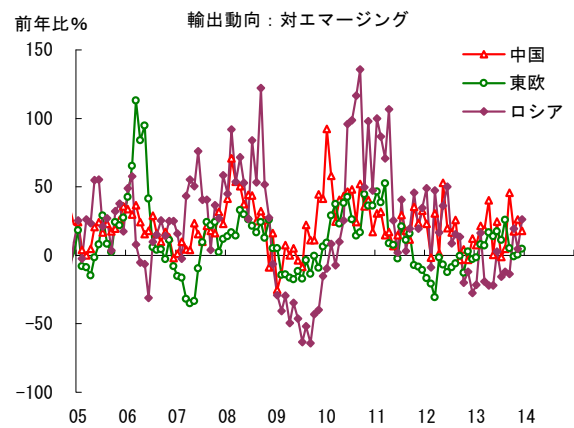
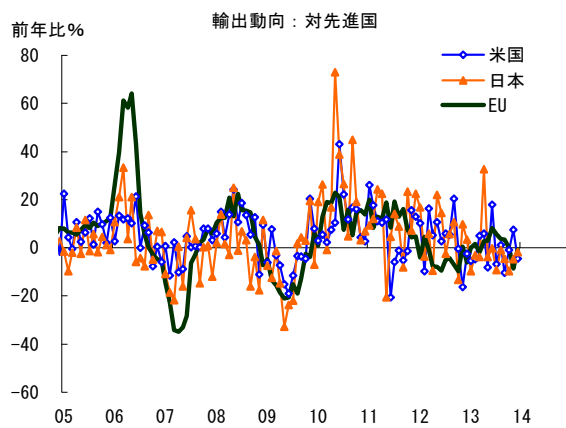
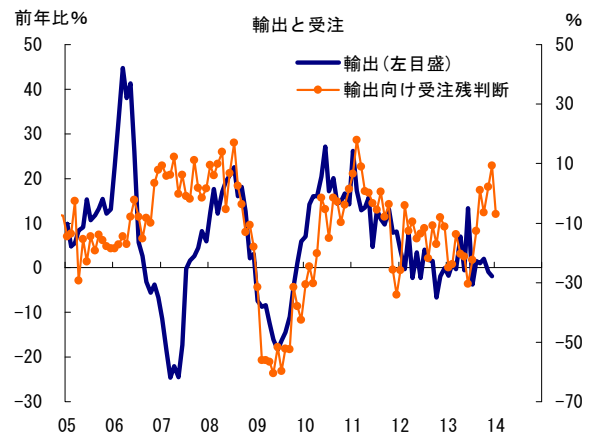
- 12月の輸出は前年比+3.8%、輸入は同+1.0%と共にプラスに転換。どちらも工業製品のプラス寄与が最も大きかった。1月の輸出向け受注残判断はほぼ横ばい
- 13年Q4では輸出が前期比+0.1%とプラスになるも、輸入は同-1.6%とマイナス転落。国別輸出では米国及び中国向けが加速し、日本向けはプラスに転換。ロシア向けは減少続く
- 12月の経常収支は332億ユーロと97年の統計開始以来の最高額を記録。サービス及び所得収支の増加が主要因。外国からの対ユーロ圏証券投資は、債券投資が売り越しに転換



出所：Eurostat、ECB データより大和総研作成

英国 国際収支

- 12月の輸出は前年比-1.9%、輸入は同-4.7%。共に燃料のマイナス寄与により前年割れとなった。13年通年では、輸出が前年比+1.3%、輸入は同+0.8%
- 13年Q4は主に燃料のマイナス寄与により輸出は前期比-1.1%となるが、Q3と比べれば減少幅は縮小。輸入は同-3.2%とマイナスに転落。工業製品の減少が目立つ
- 12月の国別輸出動向を見ると、先進国向けはすべて前年割れ。一方、新興国向けは堅調な伸びが続く。1月の輸出向け受注残判断は、12月の高水準から大きく悪化



出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成